



# 高德寺だより

令和7年4月1日 152号  
曹洞宗 高德寺  
TEL 0238-42-2859



こころあま そら はなその  
この心天つ空にも花供ふ



みよ ほとけ たてまつ  
三世の仏に奉らばや



写真は昨年の大般若当日早朝の様子(住職撮影)

◆新年度を迎える季節となりましたが皆さまいかがお過ごしでしょうか。大雪に見舞われた長い冬から解放され、ようやく待ちに待った春の陽気を感じられるようになりました。題字の「この心天つ空にも花供ふ 三世の仏に奉らばや」の言葉は永平寺を開かれた道元禅師さまが詠まれた歌で、ご詠歌の歌詞にも採用されているものです。仏様やご先祖様にお供えする花や、供養する事、更には供養する行いの尊さを表しています。その意味は、まごころをもって、受け継がれている命をお守り下さる仏様に、お花をさしあげ、供養の誠を捧げまじょうとなります。まもなく春爛漫を迎えます。決して目には見えませんが、家庭の中でしっかりと信仰を育み、どんな時代になろうともお陰様の精神を忘れないようにいたしましょう。さて、昨年のお大般若は晴天に恵まれ桜も満開のようでした。本年も別紙の如く開催いたしますので、是非にお出かけ下さい。

# ご報告と お知らせ

❖雪解けとともに、この冬の雪害や動物による被害が複数出ていることが分かりました。山門脇の桜の木が太い幹から折れてしまい後日、護持会理事さんのご協力で、環境整備をすることになりました。

100年近い古木の桜の痛みは年々加速しております。新しい桜も植樹し将来に向けて、生育しておりますが、今後も檀信徒の皆様にご協力頂きながら後世に伝えていきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。また、昨年の事業で動物対策を施し

ましたが、やはり簡単にはいかないようです。動物の猛威に只々驚きを感じます。かなり強力な網を張り施行していただきましたが、見事に破られ侵入したようです。今後、より強い対策を練る必要があります。



❖去る2月18日住職の弟子(次男) 洗哉こうやが福井県大本山永平寺に上山(じょうざん)いたしました。赤湯駅で別れましたが、永平寺門前で宿泊した旅館より出発直前の写真が届きました。寒さと緊張、そして何より覚悟が決まった表情に感慨深い思いが込み上げます。今年は福井も大雪で例年にないほどの寒中に山門に立った様子です。今年度の1番上山ですので、先輩修行僧から手厳しい指導を受けているものと思

います。家族と言えども、5月の連休明けまでは連絡が全く取れない規則になっていますので、現在どのような日々を送っているものかと案じております。

尚、お寺のホームページではたまたま福井のテレビ局で放映された動画が見れるようにしております。いずれ皆さんの前で挨拶出来る日が来ると思いますが、修行の無事を見守っていただければ有難く思います。末永くよろしくお願い申し上げます。

❖4月よりご法事の塔婆(とうば)のサイズを4尺(約120センチ)から3尺(約90センチ)へと変更させていただきます。自然環境への配慮と昨今の物価上昇等を考えサイズダウンいたします。1本1,000円のままでお願いしたいと存じます。何かとご理解の程お願い申し上げます。



